

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0792830010		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グループホーム みらい 1		
所在地	福島県西白河郡矢吹町八幡町827		
自己評価作成日	平成26年10月20日	評価結果市町村受理日	平成27年4月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	平成27年1月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周囲が田畑に囲まれており、季節を身近に感じることができます。広いホールを利用してボランティアの歌手や歌の慰問を毎月迎え、両ユニット合同で楽しい行事を取り入れています。また、近くの幼稚園や保育園児の来訪があり、地域の方々に協力頂きながら運営しております。インフォームドコンセントと寄り添ったケアを念頭に支援致します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 法人として職員の資質向上に努め、法人研修会を年間11回開催したり、資格取得支援のため模擬テストを実施するとともに、事業所でも外部研修会に積極的に参加させている。
2. 地域自治会に加入し、祭り、町内の各種イベントへの参加や各種ボランティアの受け入れなど、地域の一員として日常的に交流している。
3. ケア場面でのインフォームドコンセントに努め、利用者に寄り添った支援を行っており、利用者、家族の信頼が高い。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人間としての尊厳を失わずに暮らしていけるようなケアを提供する。法人理念を踏まえ事業所理念の地域の中で穏やかな暖かみのある生活の場の提供と利用者の意向に沿った介護の支援を実践している。	地域の中で穏やかな温かみのある生活の場を提供することを理念として掲げ、理念を掲示したり、ミーティングや会議などで全職員共有し実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として自治会行事、地域活動等に参加し、地元の人々と交流する事に努めている。又ボランティアの方々の唄の慰問、幼稚園児等との交流も深めている。	地域自治会に加入し、祭り御輿が事業所を訪問したり、地域で行われるコンサートや合奏発表会に行ったりしている。また、各種ボランティアによる歌や舞踊、器楽演奏などを行うなどの交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢者との関わりを持ち、行事への参加の呼びかけや、認知症のケアを実践し交流を図っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	ホームの運営状況や利用者の状況、事故、研修等について報告し、意見や助言を頂き、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は定期的開催し、利用者や職員の状況、行事、防災訓練、事故などを報告し、委員とも積極的な意見交換を行っており、会議結果の記録も適切に行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター職員に運営推進会議に出席頂いたり、町主催の研修等に参加している。町の担当者と連絡を取り、課題の解決に向け協力を頂ける様な関係作りに努めている。	地域包括支援センター職員が運営推進会議に出席しており、町の保健福祉関係の研修会が2ヶ月毎に開催されている。その会議等で事業所の実状を報告するとともに入退居、欠員補充、事故報告などを行い協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修に参加し、拘束に関する理解を深めている。日中ホームの玄関は施錠せず、スタッフによるさりげない見守りを行なっている。散歩や買い物等に一緒に出かけたり、安全に配慮しながら自由な暮らしを支援している。	身体拘束排除のマニュアルがあり、職員には内部研修を行っている。家族とは入居時や利用者の身体状況変化の早い段階から話し合いをし、リスクの共有に努めている。昼の玄関の施錠を含め拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について学び理解し、言葉の虐待等、常に防止できるよう職員同士話し合える関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は成年後見人制度の利用者はいないが、社内研修に参加し、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に、十分に話し合う機会を設け解り易い説明を行い、納得を頂いた上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表に出席頂いたり、意見箱の設置や、来所時に要望等を頂いている。その中で得た要望は職員間で話し合いサービスの質の向上に活かせるよう努めている。	運営推進会議に家族代表が参加した時、行事や面会時などで家族が訪問した時に意見などを把握し運営に反映するようにしている。利用者の声を家族に伝えるため毎月手紙などで近況を知らせている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議等、職員の意見や提案を聞く機会を設け本社と連携を図りながら対応している。	ミーティング、会議等で職員の意見や提案を把握したり、管理者等の個別面談を行い職員の意見、要望を把握し運営に反映するよう検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に管理者と職員が話す機会を設け職員一人一人のケアに努めている。また、個人評価等によりやりがいを育てるような環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修や、外部研修など受講する機会を多く確保し、職員の質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の研修や町主催の研修会に参加し、他事業所との意見交換、交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者と積極的に関わりを持ち不安や気付きの共有が出来るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望等を聴きながら、利用者様の状況に合わせたサービスの支援ができるよう、連携を取りながら安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様やご家族の希望や状況に合わせたサービスの支援が出来るよう、他サービスの利用も検討した対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側とされる側という関係ではなく、出来る事は一緒に協力しながら生活が送れるよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、職員を交えて家族と情報交換する時間を設けている。またホーム行事への参加呼びかけを行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会に来れるような雰囲気作りに努め、友人や馴染みの床屋が散髪に来訪している。またご家族との外食や外泊が出来るように支援している。	馴染みの美容院の利用や町内の公園での花見に出かけている。また、知人の面会、家族との外食、買い物、墓参り、ドライブなどこれまでの関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員の声掛けを通して、利用者様同士が関わりを持てるように働きかけている。また利用者様同士の関係性など職員間で情報を共有している。必要に応じて、利用者様が孤立しないよう職員が仲介するような支援もしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も必要に応じて、ホーム内での生活状況をお伝えしたり相談等に応じられるよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	快適な生活が送れるよう、日常の会話から希望や意向を把握し、申し送りやカンファレンスで共有し、一人ひとりの意向に沿ったケアを行っている。	入浴時など本人がリラックスした時に思いや意向を把握し、暮らしの情報としてまとめるとともに関係者に伝え、出来るだけ願いが叶うよう家族や関係者の協力をいただきながら意向に沿ったケアを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の会話や行動から情報を得たり、家族様よりお話を聞いたり情報の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の様子や状況など、申し送り等で情報を共有し、把握するよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様、ご家族から要望を聞き取り、ケース会議等で職員で話し合い、利用者様に合った介護計画を作成している。	一人ひとりの現状を把握し、本人、家族、必要な関係者と話し合い介護計画を作成し、インフォームドコンセントに努めた支援を行っている。状況変化時にはその都度、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の現状把握を十分に行ない、日々の変化を見逃さず記録し、情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様や家族様の状況や変化に合わせて、柔軟にサービスを提供できるよう対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方と挨拶を交わしたり、関わりを持つようにしている。また、避難訓練の実施の際には、消防署の方々に協力頂くこともある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様やご家族の意向を取り入れ、かかりつけ医への受診支援を行っている。また本人の状況に合わせ、家族様と相談しながら往診への切り替えや、病院の変更等を行っている。	利用者、家族の意向に沿った医療機関を受診できるよう支援している。通院は家族と協力しながら支援しており通院結果も、受診結果報告書、便りや電話等で報告し共有している。また、24時間オンコールと歯科、協力医等の往診体制もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携の看護師が来所する際には、申し送りや情報の共有を行っている。またいつでも相談できる体制が出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、経過状況を把握できるように病院と情報交換している。また退院後も相談できる様にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、利用者様と家族様と十分に話し合い、事前に意向確認している。医師との連携も取れており、重度化や終末期の医師協力体制が得られている。	入居時に重度化や終末期に向けた事業所の指針を書面で説明し、事前確認書で理解と同意を得ている。また、終末期の意向確認を書面で行い、意向を尊重しながら医師や家族、関係者が話し合い、方針を共有しながら支援できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてのマニュアルが整備されている。又社内研修に参加し、理解を深めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や地域の方々の協力を得て、避難訓練等を定期的に行っている。	本年度は夜間を想定した避難訓練を重点的に毎月実施した。また、消防署の立ち会い指導や運営推進会議開催日に訓練を行い、委員の参加も得ており、地域との協力体制も築いている。非常用備蓄品を備え、職員にも周知されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー確保のため、一人一人に合わせた声掛け等、配慮しながら支援している。	利用者の人格を尊重し、自尊心や誇りを損なわないよう、プライバシーに配慮しながら、居室への入室の際や排泄、トイレ誘導の言葉かけなど全職員で周知徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	以前の思いや要望に囚われず、その都度利用者様の思いを確認しながら支援している。又自分の思いを表現しやすいように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	リビングやコタツ等、一人一人利用者様に合わせ、好みの場所で過ごせるように工夫している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	二ヶ月に一度、出張散髪の方が来訪くださり、利用者様の好みに合わせ、利用いただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	スタッフも利用者様とペースを合わせ、一緒に食事を楽しんでいる。職員と共に出来る利用者様には、テーブル拭きや片づけを自主的に行って頂いている。	利用者と職員が、近隣の店で食材購入を行い、下準備や調理、片づけなど職員と一緒にやっている。共にテーブルを囲みながら食べ、楽しい食事となるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様全員の生活チェック表により、食事や水分の摂取量を把握している。又一人一人の嗜好を把握し、支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨きやうがい等一人一人に合わせて声掛けをしている。又義歯をお預かりし洗浄を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを把握し、一人一人声掛けをしてトイレ誘導を行っている。	利用者の排泄習慣を定時誘導や仕草、表情等から把握し、羞恥心と自尊心を損なわない言葉かけとトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っており、改善した利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便確認を行い、バランスのとれた食事や多めに水分摂取頂いている。又ラジオ体操を行ない、適度な運動を取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様に声掛けをしながら、要望にあわせて入浴を支援している。	利用者の希望に沿いながら、週2回の入浴を実施している。また、食事後の入浴を希望される方には意向に沿った入浴支援をしている。さらに、菖蒲湯や入浴剤等で楽しんで入浴できるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の状況を把握し、一人一人の希望に合わせて声掛け誘導している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬の詳細等は、ファイルに保管しており、直ぐに確認できるようにしている。又薬の変更や症状の変化時は記録をし、申し送りにて情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫、新聞折り、食事の後片づけ等、お手伝い頂いている。又唄を聴いたりDVDを観たり、体操など個別の好みに合わせ対応している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物やドライブ等を行ない、外出を支援している。又ホームの行事でバスを利用し、出かける機会を設けている。	日常的には買い物やドライブを実施し、暖かい時期は、毎月温泉に出かけ入浴と外食を楽しんだり、近隣の公園や飛行場、景勝地に出かけている。また、家族の協力で墓参りや外泊、食事などに外出できるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は利用者様と共にスーパーに買い物に出かけ、利用者様の希望に応じ支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族関係に配慮して、日常的に自由に利用できるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせたものを取り入れ、季節感や生活感を感じて頂き、居心地よく過ごせるよう努めている。	団子さしや七夕など季節感を感じて頂けるような飾りつけを利用者で行い、行事の写真や共同作品を展示し、湿度や温度管理に配慮しながら、居心地よく過ごせるよう取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人が思い思いに過ごせるよう、場所や席の配置など工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	居室内では利用者様が安心して過ごせるよう、家族様と相談しながら、馴染みの物等を配置した生活の場を取り入れている。	持ち込みは自由で、テレビ、整理タンスや小物入れ、コタツ、使い慣れた椅子、大切な仏壇を持ち込み、家族写真等を飾りながら居心地よく落ち着いて過ごせる部屋となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の出来る事を実践頂き、自立した生活が送れるように支援している。又安全に過ごして頂けるよう、各居室や共有スペースに手すり等を設置している。		